

おおぞら 議会だより

CONTENTS

9月定例会を開催	2
議員3名が一般質問	4
①上地議員 見守りが必要な高齢者の方の支援について	
②後藤議員 大空高校女満別校舎の今後の利用方法について	
③鈴木議員 歩道の整備と交通安全計画について	ほか
決算審査特別委員会	8
議会広報モニター会議を開催	11
視察調査を実施	12


No. 74
OZORA
GIKAI DAYORI

【発行日】

令和6年(2024年)11月29日

大空に
人花心
育むまち



9月29日に地域福祉センターで、ふれあい広場が開催されました。

子供広場や福祉体験がありました。



令和6年
9月定例会
9月17日～18日

**一般会計予算は
4億5,910万円を追加補正し、
総額98億8,720万円に
補正予算、財産の売払い、条例改正などを審議**

補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業勘定特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計、個別排水処理事業会計の補正予算について審議し、可決しました。

事業名	補正額
畑地化促進事業補助金	1億4,142万円
麦・大豆生産技術向上事業補助金	9,919万円
産地生産基盤パワーアップ事業補助金	7,666万円
持続的畑作生産体制確立緊急支援事業補助金	4,674万円
前年度障害者自立支援給付費国庫負担返還金	2,924万円

GIGAスクール事業

大泉議員

問 小・中学生の保護者から、学校から貸し出されているタブレット端末が壊れやすいという話を聞くことがある。今回は何台分の修繕料となっているか伺う。

問 タブレット端末の更新時期について伺う。

生涯学習課長 補正予算35万円の内訳は、7台分、1台当たり平均修繕単価5万円で計上しています。今年度当初予算は100万円計上していますが、8月末現在、各学校からタブレット端末の修繕依頼が17台97万円程度の支出対応となっています。

生涯学習課長 総合計画では令和9年度更新予定としていますが、ご指摘のとおり、各学校等を通じて教育委員会にも故障等の相談を多数いただいています。その都度修繕対応をしています。経年劣化等で年々修繕台数が増加しています。また、内部バッテリーの消耗等の不具合も見られるとも聞いています。

教育委員会としては、令和9年度を1年でも前倒しできるよう、内部協議を進めたいと考えています。



貸し出されているタブレット端末

有害鳥獣駆除推進事業

鈴木議員

問 熊駆除の謝金の関係について見込みより実績が上回っているという説明があったが、現況について伺う。

また、アライグマなど他の有害鳥獣が話題になっている。今回は熊駆除謝金の計上になっているが、出動手当等の状況について伺う。

産業課

熊駆除の謝金について、4月1日から現在までの捕獲実績は女満別で1頭、東藻琴で10頭となっています。当初5頭分の5万円予算計上していましたが、現在11頭まで来ています。捕獲上限として現在は20頭まで許可をいただいていることから、当初予算も

含めて20万円予算計上しています。また、出動手当と駆除費について見直すということ、女満別と東藻琴の両猟友会と協議をしています。

問 負担金の内容について伺う。

後藤議員

課長

今年度の事業は生調査、地下水調査、基本計画作成、職員派遣等に係る経費で計上していましたが、会計年度任用職員の採用、協議会の車両購入費として追加事業が発生し、今回補正提案しました。なお、大空町の負担割合は総事業費の5%となっています。

人事案件

人権擁護委員に北島恵子氏が推薦され、適任と答申しました。

財産の売払い

大空高等学校女満別寄宿舎の売払いについて可決しました。

東京農業大学との包括連携の一環として、競技スキー部の寄宿舎として活用していただきます。



湿生植物群落（水芭蕉）

課長

問

これまで教育委員会職員が水位計の設置と回収を行ってききましたが、データの信頼性を高める上で専門家に委託した方が良いのではないかとこの助言を受け、今回予算化したところでです。

委員会構成変更のお知らせ

常任委員会委員の指名

総務厚生常任委員会委員に森賀祐司議員が指名されました。

また、総務厚生常任委員会委員長に岩原繁議員、副委員長に森賀祐司議員が選任されました。



岩原 繁 委員長



森賀 祐司 副委員長

議会運営委員会委員の指名

議会運営委員会委員に岩原繁議員が指名されました。



【総務厚生常任委員会】

上地史隆 委員 大泉知功 委員
森賀祐司 副委員長 岩原 繁 委員長 鈴木秀之 委員



【議会運営委員会】

後藤 忍 委員 鈴木秀之 委員
松岡克美 副委員長 上地史隆 委員長 岩原 繁 委員

議会の傍聴はお気軽に！

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。お気軽に傍聴においでください。
- ◆YouTubeを活用し、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

12月定例会は、
12月17日(火)から
開かれる予定です。



大空町議会
YouTube



大空高校女満別校舎の 今後の利用方法について



後藤 忍 議員
後藤議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

私たちの役割は、若い世代の意見を取り入れ、彼らに未来を創る機会を与えることが必要であると考えます。

教育長 女満別校舎は、農業科の高校であった旧女満別高校の学科転換に合せて昭和53年12月に旧女満別町が現校舎を建設し、昭和54年4月に道立高校として開校するために北海道教育委員会へ譲与しました。その後、町村合併を経て、平成30年4月に女満別高校と東藻琴高校の発展的統合を目指し、北海道教育委員会に対して新設校設置の要望を行った結果、令和3年4月1日付で道立高校から町立高校への移管となり、同日、女満別高校の校舎及び教員住宅が大空町に無償譲渡され、現在は大空高校女満別校舎として教育委員会が所管しています。

生涯学習課長 校舎の施設概要ですが、1学年2クラスのの普通科の校舎とし

問 令和3年4月から現在までの校舎の利用状況について伺う。

生涯学習課長 令和3年度は、道立高等学校の入学生徒である普通科の2・3年生の全授業、令和4年度は普通科の3年生の全授業、町立高校移管後の令和5年度は、毎週金曜日に総合学科1年生34名の数学、理科、家庭、保健体育の授業を行いました。

町長 また、体育館、銃剣道場及びグラウンドを中心に、令和3年度から学校開放事業として、多くの町民、団体等の方々にご利用をいただいています。

問 旧女満別高等学校寄宿舎の活用方法について伺う。

町長 3月に、道立女満別高校への通学困難者の就学機会の確保と教育の振興を図るため、7,960万円の事業費で大空町が建設しました。建設から10年余りと比較的新しく、当該施設の有効活用について内部検討を重ねていましたが、東京農業大学との包括連携の一環として、同大学協議スキー部の寄宿舎としての利活用の打診を受け、誘致に向けて交渉を行ってきました。学生が寄宿舎を拠点に様々な活動を行うことで、教育的な人的交流や経済効果が見込

問 町には様々な課題があり、そうしたことを解決する上で、教育委員会だけではなく、

教育長 女満別研修会館の建て替え工事に伴う代替施設を視野に入れています。将来的な利活用については、今後、教育委員会内部で十分に検討を重ね、町長部局並びに議会とも協議等を行いながら進めてまいりたい。

問 校舎の利活用に対する、現時点での教育委員会の考えについて伺う。

町長 一つの用途だけでなく、使用するには大きく過ぎるかと考えており、複合的な利用を念頭に、町の地域課題の一つでも解決できる利活用について、教育委員会と連携しながら各課横断的に検討したいと考えています。



大空高校女満別校舎

各課横断的な議論の検討を 教育長▼町長部局と協議してまいりたい

問 施設の建設年度及び施設概要について伺う。

教育長 施設の建設年度及び施設概要については、

整備され、普通教室が6室、音楽室などの特別教室が8室、そのほかに、校長室や職員室、体育館など、鉄筋コンクリート造り二階建て、延べ床面積は4,081平方メートルの建物となっています。また、町立高校への移管の際、当該施設の電話機の内線化及び東藻琴校舎間のネットワーク整備を行うとともに、校内のWiFi化の整備もあわせて行っています。

また、体育館、銃剣道場及びグラウンドを中心に、令和3年度から学校開放事業として、多くの町民、団体等の方々にご利用をいただいています。



旧女満別高等学校寄宿舎

各課横断的な議論をしながら、利活用方法を検討していくのが良いのではないかと。

教育長 公共の利用、地域課題の解決に向けて町長部局と協議、連携しながら、各課横断的な利活用を検討してまいりたい。

町長 一つの用途だけでなく、使用するには大きく過ぎるかと考えており、複合的な利用を念頭に、町の地域課題の一つでも解決できる利活用について、教育委員会と連携しながら各課横断的に検討したいと考えています。



見守りが必要な高齢者の方 の支援について



上地 史隆 議員
上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(29分55秒から)

配食サービスに同行させていただきますが、笑顔で訪問されているボランティアの方を見て、本当にありがたいことだなと思いました。

町長 ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみで構成される世帯を対象に実態把握や、定期的な訪問を行う見守りネットワーク、緊急時に不安がある方を対象としている緊急通報システム設置事業、夕食の配達とともに安否確認を行う配食サービスなどがあります。また、ひとり暮らしに不安があり、心身の状況などに一定の見守りを要する方には、生活支援ハウスやシルバーハウジングに入居いただき、支援員の見守りを受けられる仕組みもあります。これらの事業と介護保険サービスなどを組み合わせることで、緊急時の連絡を円滑なものとするともに、個別の状況に応じて、訪問や電話での安否確認を行い、病気や心身の衰えがあっても安心して生活できるよう支援する仕組みを構築しているところ

福祉課長 令和6年3月末時点の65歳以上の一人暮らし高齢者数は420人、高齢者のみの世帯数は459世帯です。次に見守りネットワーク事業について、対象世帯数は、712世帯、訪問実績については563世帯、訪問実施率については、79%となっており、年齢が上がるにつれて高い実施率となります。緊急通報システム設置事業については、設置世帯数は69世帯です。年間通報実績は272件、その内12件が緊急の対応でした。配食サービスの利用登録をされている世帯は69世帯です。実利用世帯は38世帯で、年間総配食件数は4795食です。また、見守りに関する連携協定を締結している事業者は15事業者となっています。生活支援ハウスの入居者数は、女満別地区15人、東藻琴地区11人です。シルバーハウジングの入居世帯数は28世帯です。

0人、高齢者のみの世帯数は459世帯です。次に見守りネットワーク事業について、対象世帯数は、712世帯、訪問実績については563世帯、訪問実施率については、79%となっており、年齢が上がるにつれて高い実施率となります。緊急通報システム設置事業については、設置世帯数は69世帯です。年間通報実績は272件、その内12件が緊急の対応でした。配食サービスの利用登録をされている世帯は69世帯です。実利用世帯は38世帯で、年間総配食件数は4795食です。また、見守りに関する連携協定を締結している事業者は15事業者となっています。生活支援ハウスの入居者数は、女満別地区15人、東藻琴地区11人です。シルバーハウジングの入居世帯数は28世帯です。

町長 今後、現行の緊急通報システムを上回る性能の機器が出てきた際には、改めて検討したいと考えています。配食サービスについては、課題として、配達を担う人材の不足がありますので、実施回数を増やすことについては、社会福祉協議会や調理等を担っていたでいる女満別福祉会やセブンイレブンと協議をさせていただかなければなりません。



緊急通報システム

そのほかに、生活協同組合などから直接配達を受けていらっしゃる方もいます。社会福祉協議会に加えて、民間事業者が参入していることで、見守りの機会というものは拡大していくものと考えています。これらの配食に関連する事業者の実情も踏まえて、それぞれの料金や仕組み、利用状況を整理した上で、配食サービス拡大の必要性について検討してまいりたい。最後に安心生活創造事業ですが、生活支援体制の部分で介護保険事業の中で、様々な検討をしているところです。

新たな見守りの取り組みの考えは 町長▼先進事例も参考にしながら検討したい

問 現在日本では、高齢化が急速に進んでおり、今年4月に国立社会保障人口問題研究所が発表した日本の世帯数の将来推計によると、単独世帯の高齢者の方が、2050年には1084万人まで増加する見通しであり、予想を超えるペースでひとり暮らしの高齢者の方が急増しています。ひとり暮らしの高齢者の方は、ご家族と同居されている高齢者の方に比べて、様々な困難や不安を抱えやすいのが現状です。健康面、経済的な不安、社会的孤立、これらの問題に対して、社会全体でどのように支援していくのが重要な課題となっています。町の取り組みの現状について伺う。

訪問を行う見守りネットワーク、緊急時に不安がある方を対象としている緊急通報システム設置事業、夕食の配達とともに安否確認を行う配食サービスなどがあります。また、ひとり暮らしに不安があり、心身の状況などに一定の見守りを要する方には、生活支援ハウスやシルバーハウジングに入居いただき、支援員の見守りを受けられる仕組みもあります。これらの事業と介護保険サービスなどを組み合わせることで、緊急時の連絡を円滑なものとするともに、個別の状況に応じて、訪問や電話での安否確認を行い、病気や心身の衰えがあっても安心して生活できるよう支援する仕組みを構築しているところ

0人、高齢者のみの世帯数は459世帯です。次に見守りネットワーク事業について、対象世帯数は、712世帯、訪問実績については563世帯、訪問実施率については、79%となっており、年齢が上がるにつれて高い実施率となります。緊急通報システム設置事業については、設置世帯数は69世帯です。年間通報実績は272件、その内12件が緊急の対応でした。配食サービスの利用登録をされている世帯は69世帯です。実利用世帯は38世帯で、年間総配食件数は4795食です。また、見守りに関する連携協定を締結している事業者は15事業者となっています。生活支援ハウスの入居者数は、女満別地区15人、東藻琴地区11人です。シルバーハウジングの入居世帯数は28世帯です。

問 総務省のひとり暮らしに対する見守り活動に関する調査で先進自治体が出ており、通信装置を搭載した電気ポット、LEDライト、人感センサーなどを活用した見守りなども行っています。配食サービスについても、東藻琴地区が週二回、女満別地区が週三回ですが、増やすことは出来ないのか。

また、厚生労働省の安心生活創造事業により、一人暮らしの高齢者だけでなく、高齢者世帯、障害者世帯の支援を検討していないのか伺う。

企業誘致活動の現状と今後の展望について

町の魅力を最大限に活用した取り組みを

町長▶地域経済に波及効果がある企業誘致活動を充実



女満別空港

町長 魅力ある多様な資源や、空港を有する優位性をアピールしつつ、活動してきました。平成27年度、令和元年度に東京都内で食品加工関連会社を対象とした企業誘致セミナーを開催しましたが、ここ数年はコロナ禍で行っていません。誘致する産業分野を絞り込んでのアプローチを行っているんですが、企業等からの町有地の問合せ等を通じ、誘致のアプローチを行っています。

問 現在の企業誘致活動はどう進められているのか。誘致する産業分野を絞り込んで対応しているのか伺う。

町長 魅力ある多様な資源や、空港を有する優位性をアピールしつつ、活動してきました。平成27年度、令和元年度に東京都内で食品加工関連会社を対象とした企業誘致セミナーを開催しましたが、ここ数年はコロナ禍で行っていません。誘致する産業分野を絞り込んでのアプローチを行っているんですが、企業等からの町有地の問合せ等を通じ、誘致のアプローチを行っています。

問 町内に進出した誘致企業へは、企業活動の継続・発展に向けた情報交流が必要ではないか。

町長 大空町企業振興促進条例を定め、事業所の設置や設備投資などに補助しています。このほか、従業員住宅助成金交付制度を設け、雇用環境の充実を図るとともに、定住を促進しています。

問 情報収集力の向上が重要な時代になっている。今後の展望として、包括連携協定等と結んでいる企業との情報交流や職員の研修交流等を推進し、情報収集力を高めてはどうか。

町長 情報収集力の向上が重要な時代になっている。今後の展望として、包括連携協定等と結んでいる企業との情報交流や職員の研修交流等を推進し、情報収集力を高めてはどうか。

町長 近年情報通信技術の進展に伴い、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方が可能となっており、テレワークなど、本社と距離のある地方で就業する傾向もあります。大規模な工場の誘致に限らず、リスク分散による小規模な事業所の開設や、自然環境を生かした保養所としての利用なども考えられます。様々な可能性について、事業者と積極的に意見交換を行い、地域の活力につながる事業展開をしていきたいと考えています。

町長 近年情報通信技術の進展に伴い、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方が可能となっており、テレワークなど、本社と距離のある地方で就業する傾向もあります。大規模な工場の誘致に限らず、リスク分散による小規模な事業所の開設や、自然環境を生かした保養所としての利用なども考えられます。様々な可能性について、事業者と積極的に意見交換を行い、地域の活力につながる事業展開をしていきたいと考えています。

町長 誘致することも大切ですが、進出していた方がいい企業と関係を持し深めていくことも重要と考えています。昨年、進出している企業のフアミリー向けの催しに職員と一緒に参加しました。進出企業の様々な活動の機会をとらえて、町のPRや職員の研修もあわせて行いたいと考えています。

町長 誘致することも大切ですが、進出していた方がいい企業と関係を持し深めていくことも重要と考えています。昨年、進出している企業のフアミリー向けの催しに職員と一緒に参加しました。進出企業の様々な活動の機会をとらえて、町のPRや職員の研修もあわせて行いたいと考えています。

問 首都圏の大空町関係者や包括連携協定を結んでいる企業との情報交流を密接に行っているのか。特に空港のある町としての特色を生かした航空会社との連携を強化し、地場産品の販路拡大と情報収集能力の向上対策について伺う。

町長 今、都内にふるさと会があるのは東藻琴ふるさと会のみになりました。参加する機会がありましたら、是非様々な情報交流をしたいと考えています。大空町では、道内に本所を有する航空会社2社と包括連携協定を締結しています。毎年、各種事業を取り進めています。さらに進めさせて、広がりのある連携協力というものをも今後進めたいと考えています。



ボッシュ(株)女満別テクニカルセンター

歩道の整備と交通安全計画について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

町の現状と発展の可能性を再認識して未来につながるまちづくりを、町民と一緒に知恵を出し合い自律的で自立的自治体運営を願ひ質問しました。

問 子供から高齢者まで、誰にでも優しいまちづくりを進める観点から町道、歩道の整備の優先順位判断と計画立案は、どう進められているのか伺う。

町長 町道の歩道は、傷んだ縁石や舗装のひび割れ等が多数生じている状況です。それらを一気に改修するには、多額の費用が必要となるため、特に傷んでいる箇所や危険な箇所を抽出し補修しています。基本的には、歩行者や車両の交通量が多く、危険性が高い箇所や区間を優先的に整備し、その中で、用地買収を伴う拡幅整備は、財源確保も含めて、総合的に判断し優先順位をつけています。

問 交通安全計画に「可能な限り、成果目標を設定した施策を策定し、町民の理解のもと、交通安全対策を積極

問 交通安全計画に「可能な限り、成果目標を設定した施策を策定し、町民の理解のもと、交通安全対策を積極



東藻琴地区の横断歩道

問 住民参加、協働型での道路の安全維持のため、定期的に町民がより参加しやすい協議の場を設定してはどうか。

町長 特に要望調査等を行っていると思いますが、通学路については、町内の小中高校、網走開発建設部、オホーツク振興局、網走警察署等と合同点検し、その際の指摘事項等を踏まえて対応しています。

町長 道路の路面表示に及び町など、道路管理者が設置管理するものは、道路のセンターラインや外側線などです。公安委員会が設置管理

問 交通安全の観点から、町道と国道・道道との交差点の安全確保策について関係機関との連絡調整は、どう進められているのか。道路標示等は明確に認識できることが不可欠なことと考えます。現状認識と課題を伺う。

問 電動車椅子等に乗り受けます。誰にでも優しいまちづくりには、歩道の整備が、課題になってくると思います。街灯の支柱が、歩道の真ん中に設置されている箇所もあります。安全確保を優先し改善を検討してはどうか。



電動カート

町長 電動カートは歩行者と同じ扱いになつて、時速6キロ以下で走るもので、電動カートが走行出来ない箇所が、数多く町道の中でも存在しています。幅員が狭く、歩道上のほぼ真ん中に街灯が立っていて、それが支障となり通行出来ない場所等は、早急に点検して整備していきます。

町長 交通安全計画では、公共施設、福祉施設、病院等の周辺を中心に、平坦性が確保された幅の広い歩道への積極的な整備と歩道の段差解消や勾配の改善等バリアフリー化推進を明記しています。今までは、ただ歩く人だけの歩道という考え方でしたが、電動カートが通るといことも想定し、バリアフリー化を進めていきたいと考えています。

交通安全計画



町長 電動カートは歩行者と同じ扱いになつて、時速6キロ以下で走るもので、電動カートが走行出来ない箇所が、数多く町道の中でも存在しています。幅員が狭く、歩道上のほぼ真ん中に街灯が立っていて、それが支障となり通行出来ない場所等は、早急に点検して整備していきます。

一般質問

誰にでも優しいまちづくりを

町長▶優先順位をつけ、バリアフリー化も推進

町長 直接的に町民の皆さんと道路整備に特化した意見を聞く場は、設けていません。今後、自治会単位、自治会長の集まりで行うのか、個別に地区毎で行うのか等検討します。

町長 特に要望調査等を行っていると思いますが、通学路については、町内の小中高校、網走開発建設部、オホーツク振興局、網走警察署等と合同点検し、その際の指摘事項等を踏まえて対応しています。

町長 特に要望調査等を行っていると思いますが、通学路については、町内の小中高校、網走開発建設部、オホーツク振興局、網走警察署等と合同点検し、その際の指摘事項等を踏まえて対応しています。

町長 特に要望調査等を行っていると思いますが、通学路については、町内の小中高校、網走開発建設部、オホーツク振興局、網走警察署等と合同点検し、その際の指摘事項等を踏まえて対応しています。

町長 特に要望調査等を行っていると思いますが、通学路については、町内の小中高校、網走開発建設部、オホーツク振興局、網走警察署等と合同点検し、その際の指摘事項等を踏まえて対応しています。

町長 道路の路面表示に及び町など、道路管理者が設置管理するものは、道路のセンターラインや外側線などです。公安委員会が設置管理

問 交通安全の観点から、町道と国道・道道との交差点の安全確保策について関係機関との連絡調整は、どう進められているのか。道路標示等は明確に認識できることが不可欠なことと考えます。現状認識と課題を伺う。

問 電動車椅子等に乗り受けます。誰にでも優しいまちづくりには、歩道の整備が、課題になってくると思います。街灯の支柱が、歩道の真ん中に設置されている箇所もあります。安全確保を優先し改善を検討してはどうか。



電動カート

町長 電動カートは歩行者と同じ扱いになつて、時速6キロ以下で走るもので、電動カートが走行出来ない箇所が、数多く町道の中でも存在しています。幅員が狭く、歩道上のほぼ真ん中に街灯が立っていて、それが支障となり通行出来ない場所等は、早急に点検して整備していきます。

町長 電動カートは歩行者と同じ扱いになつて、時速6キロ以下で走るもので、電動カートが走行出来ない箇所が、数多く町道の中でも存在しています。幅員が狭く、歩道上のほぼ真ん中に街灯が立っていて、それが支障となり通行出来ない場所等は、早急に点検して整備していきます。

各会計決算の質疑応答

☆一般会計☆

〔歳入〕

**ごみ焼却施設維持管理費
担金**

〔1,706万円〕

鈴木委員 当初予算から減少した要因を伺う。
住民福祉課長 施設の修繕による休止に伴い、網走市、斜里町からの搬入量が減少しました。

不用物品売払代

〔143万円〕

鈴木委員 主な物品について伺う。

産業課長 メルヘンカルチャーセンターに配備しています乗用型芝刈り機、36万円です。次にミニホイローダー57万円、貨物トラック28万円、こちらは住吉牧野の事業廃止に伴い売却しました。
建設課長 建設課所管の分について、使い終わった古チェーンの鉄くずなど約15t売払い、23万円となっています。

企業版ふるさと納税

〔1300万円〕

鈴木委員 今後の対応について伺う。

まちづくり推進室長 大空町に既に進出している誘致企業や、企業に関心を持つていただけるよう、大空町としての事業展開もPRし、企業の支援とマッチすることを今後進めていきます。

資源物売払代

〔379万円〕

鈴木委員 売払代増加の要因について伺う。

住民課長 資源物のスチール缶、アルミ缶、段ボール、新聞紙、雑誌、牛乳パック、リターナブル瓶、発泡トレー、ペットボトル、古着、食用油等が売上による収入です。資源物を売払う際に有益な単価であるものにその都度変更しました。



リサイクルセンター

〔歳出〕

職員研修厚生費

〔199万円〕

鈴木委員 職員研修について、計画どおり実施されたのか伺う。

総務課長 自主研修活動並びに退職準備セミナー及び赴任旅費についての執行残となっており、その他の研修については当初計画どおり実施しています。

交通安全対策費

〔235万円〕

鈴木委員 運転免許自主返納報奨金の交付実績について伺う。

総務課長 令和5年度実績は30件、1件当たりの3万円を交付しています。令和4年度実績については40件です。

結婚新生活支援事業

〔69万円〕

大泉委員 1件当たり30万円が上限で3件来ているが、詳細について伺う。

福祉課長 結婚に伴う新生活支援のため住居費及び引越費用の一部30万円を上限に補助を行うものです。町ホームページによる周知のほか婚姻受理の際にご案内をしています。内訳は30万円の上限が2件、9万円の補助が1件です。

高齢者等移動支援事業

〔1,006万円〕

川村委員 利用率を上げていく対策を考えているか伺う。

決算審査特別委員会を開催

～令和5年度各会計の事業、取組みを審査～

令和5年度の一般会計、特別会計を合算した決算額は、歳入124億4,910万円、歳出121億6,408万円で、形式収支は2億8,502万円の黒字となりました。

決算審査特別委員会では、予算執行及び事業運営の状況を審議し、原案のとおり認定しました。



youtubeで
視聴できます

福祉課長

利用率を上げていく対策として、要支援者、要介護認定者についても対象として追加をし、外出支援タクシーについては実質の助成が増額をしています。初乗り運賃を控除する制度をなくし、分かりやすい形に切替えています。

広域入所事業

〔2500万円〕

森賀委員 事業に対しての需要について伺う。

福祉課長 大空町から他町、他市へ保育の利用をされる方に関する委託料を計上している事業です。認定ことも園めまんのべつの利用受入れが満員になりやすく、また、東藻琴地区の認定こども園へ利用調整が難しい方については、保護者の勤務先である他町での保育利用が考えられるということで、当初見込みよりも増えたという状況です。

女満別中央病院医療環境等充実事業

〔9,443万円〕

上地委員 人材確保事業の減額の主な要因、詳

細について伺う。

福祉課参事

令和5年度に新型コロナウイルス関連の診療報酬の加算があり、収益面では有利であった状況で、人材に関する補助金を1,000万円少なく申請をしていただいています。

医療・介護従事者等確保事業

〔1800万円〕

鈴木委員 現場からの要望とマッチングしているのかどうか伺う。

福祉課長 確保事業については制度改善しながら進めています。新たな補助要件の中で、9人の採用経費に対しての補助を行いました。2年間の中で退職された方が4名、その中には外国人の方3名も含まれています。医療、介護従事者の事業所については配置基準もあり、いつまでも欠員ということにはならないため、この事業を使っている状況です。

廃屋等解体撤去推進事業

〔360万円〕

鈴木委員 補助件数11件中、危険家はどれぐ

らいあったのか伺う。また、危険家を把握する調査等を行っているのか伺う。

住民課長

11件中、危険家は2件となっています。危険家屋等の把握については、町民の方からの情報や住民課としても町内を見て歩くなど把握しています。

健康増進事業

〔970万円〕

鈴木委員 受診率が上がらないということ、対策を講じているのか伺う。

福祉課長

JAめまんのべつ様との協力のもと、農家への検診の動機づけや、訪問指導等へのご協力をいただく取り組みを行いたいと思っています。

後藤委員

脳ドック利用者25名は少ないと思うが、利用率について伺う。

福祉課長

対象者は40歳から64歳の方で、昨年度、一昨年度2年間で前2年間受診された方は対象外ということで設定しています。利用できる医療機関について、現在、網走脳神経クリニックと

網走厚生病院の2か所。今回、令和5年度は25人、令和4年度は22人が利用しています。

ごみ処理施設維持管理費負担金

〔521万円〕

鈴木委員 津別町へのごみみの堆肥化をお願いしている関係について、維持管理経費の負担割合の内訳と、どのような協議をしているのか伺う。

住民課長

内訳としては維持管理費に係る部分、実際に堆肥として使う場合、ふるいにかける作業のふるい処理費、堆肥塩分濃度などの分析。そういったものを人口割、搬入割で、津別町と確認しながら決定しています。



生ごみ堆肥配付の様子

網走し尿処理施設負担金

〔2,034万円〕

川村委員 昨年度から500万円程度増加している要因について伺う。

住民課長

維持管理費に関わる部分、修繕等で令和5年度については増額となっています。

起業化支援事業補助金

〔543万円〕

森賀委員 近年の利用者の申込み数、利用実態について伺う。

産業課長 令和5年度の実績に関しては飲食業、食品の製造販売、浴場業、レンタカー業、美容業の合計6件に対して、総額543万円を助成しています。令和4年度は4件、令和3年度が2件です。増加傾向です。

都市公園管理運営費

〔1,332万円〕

後藤委員 女満別こいの広場の敷石の補修状況について伺う。

建設課長

役場から見て噴水公園南側、教育文化会館側については、住民の方が多く通りますので修繕を完了しています。



こいの広場

GIGAスクール事業

〔638万円〕

森賀委員 タブレットを導入したけれど使われていないものが相当数あると報道がされていた。大空町では使われていないタブレットがあるのか伺う。

生涯学習課長

タブレット端末は両地区の小中学校の児童、生徒用として全て稼働しています。導入した際、22台予備機としていました。使用経過年数が経つと共に故障等もあり、使用出来ない端末も出てきています。タブレットが全く未使用で余っている状況ではなく、本町については有効活用しています。

女満別小学校管理費

9,623万円

川村委員

電気料について、どのような対策をして、削減したのか伺う。

生涯学習課長

オール電化の施設となっており、電気料の増減については多大な影響がある施設です。昨今の原油高騰対策により、国の電気使用料補助をいただいた関係で、当初見込みより支出額の減に繋がったこと、電気料高騰に伴い、教室等の節電にご協力をいただき削減に繋がりました。

大空高等学校実習費

2,415万円

齋藤委員

畑作業がない中で、どのようなことをやっているのか伺う。

生涯学習課長

木・野菜の栽培、農産加工製品等農業実習生産物の製造と関連する施設の維持管理経費を計上しています。

教育文化合宿誘致事業

265万円

川村委員

不用額が毎年出ている中で、新たな合宿誘致が発生した場合、活用できる方法はないのか伺う。

生涯学習課参事

現在

合宿誘致実行委員会の構成員については、バスケットボール、バレーボール、相撲団体と経済的な効果を高める意味で商工会も入っています。事業の内容について実行委員

生涯学習課参事

今

大空町へ来ていただきたい中、町として対策が必要という意見もあり、今後内容について検討していく必要があると思っています。

姉妹都市友好町教育交流事業

249万円

上地委員

令和4年度はコロナの影響によって事業が中止していたが、再開にあたって詳細について伺う。

生涯学習課参事

稲城

市の児童交流については、小学生を対象に、受入れは8月16日から18日、30名の児童が来町し、学校間交流や地域を体験しています。

大空町から稲城市へ1

月10日から12日、学校交流と都内の見学に、女満別小学校の児童18名が参加しています。

氷川町の交流事業につ

いては、中学2年生を対象に、受入れは7月28日から7月30日、氷川中学校9名が来町し、ドラゴンボートに乗る体験などを行っています。

1月5日から9日、東藻琴中学校、女満別中学

校合わせて9名の生徒が氷川を訪れ、体験学習等を行っています。

★総括質疑★

役場庁舎大規模改修事業について

後藤委員

防災の観点から、役場庁舎のWiFi整備状況について伺う。

町長

役場庁舎のフリーWiFiについては、一般の利用者、特に役場の一部避難所にもなっていますので、避難したときに利用する部分では、今までの状況になっ



氷川町交流事業（ドラゴンボート体験）



白かば台スキー場

スキー場管理費について 鈴木委員 シーズン中にロープウェイを運行するス

物価高騰対策について、町長の見解を伺う。 町長 地方創生臨時交付金を活用し、昨年度はクーポン券を初めて町として発行、水道料金の基本料金の減免、福祉医療施設への暖房費の支援など様々な取り組みを行いました。

予備費について

齋藤委員

予備費について町長の見解を伺う。

町長

町の予算は行政側の都合で作られているものではなくて、全て町民のために執行する経費であると認識しています。予備費の使用は、そこで使わせていただかなければ町民の利用等に不都合が生じるという考えで利用させていただいています。

親しまれる議会だよりを目指して

～議会広報モニター連絡会議を開催～

議会だよりに町民の声を反映するため導入している「議会広報モニター連絡会議」を令和6年10月31日に開催し、議会広報活動へのご意見をいただきました。主なご意見は次のとおりです。

- 予算審査特別委員会の記事に円グラフで予算の内訳が載っているとわかりやすい。
- 短くわかりやすい見出しに改善された。
- 一般質問ページの一〇メモがあった方が制度の説明などわかりやすくて良い。
- 一般質問したあとに反映されたものがあれば、お知らせして欲しい。
- 一般質問の写真が変わったが、我が町政を問うというタイトルに合っていて良い。
- 町長の声をインタビュー形式にしてみてもどうか。



地域活動に参加しています



ロール転がし どってん酷 (議会・農業委員会合同チームとして出場)



大鵬杯相撲大会



J A めまんべつ収穫感謝まつり



ふれあい広場

令和6年10月22日から24日 総務厚生常任委員会行政視察報告

委員長 岩原 繁

～地域交通、連携協定、子ども発達支援センター、メタン発酵処理施設、保育園留学の取り組みについて視察～



地域交通について（中頓別町）

中頓別町では、路線バスの見直し議論をきっかけに地域交通の確保を掲げ、課題解消に向けてUber Japan(株)と協議、2016年8月からライドシェア実証実験、2019年4月から本格運行を開始しています。道路運送法上の許可又は登録を要しない運送として実施。ドライバーと利用者のマッチングにはUberアプリを活用し、利用者は実費（ガソリン代とシステム利用料）を負担しています。ドライバーはボランティアとして現在16名が登録し、運行しています。



網走市・大空町との連携協定について（上川大雪酒造(株)）

上川大雪酒造(株)は今年大空町と網走市の三者で連携協定を締結し、大空町の酒米と網走市の水を使ってお酒を造る事を目指しています。醸造は3人の職員で行ない、他に宿泊施設も運営しており臨時も含めて17人雇用しているとの事です。通年で醸造しており常にフレッシュなお酒を供給しています。特徴的だったのは酒造りを依頼しても醸造タンク1本分全量買取らなくてもいいところです。必要分以外は自社ブランドで販売してもらえとの事でした。



子ども発達支援センターおひさまについて（東神楽町・東川町）

東神楽では、隣町の東川町と協定を結び「東神楽町・東川町子ども発達支援事業所、児童相談支援事業所」として運営しています。

利用対象者は、東神楽町・東川町在住の方で、親子一緒に通うことが原則です。ゼロ歳から就学まででの「児童発達支援」、就学後の「放課後等デイサービス」、おひさまに通えない子ども対象の「保育所等訪問支援」を実施しています。

保育園・学校、町保健師、医療機関、ことばの相談等の専門家との連携を密にするとともに保護者交流会の開催など施設利用家族へ寄り添うことに力を入れています。



高速メタン発酵処理施設について

（中空知衛生施設組合 リサイクリーン）

中空知衛生施設組合は3市2町（滝川市、赤平市、芦別市、新十津川町、雨竜町）で廃棄物処理を行っており、最大55t/日（生ごみ）の処理能力を有しています。生ごみを発酵し回収したメタンガスは発電やボイラーに利用し、発生させた電気は施設内、余剰分は電力会社に売電、発酵後の汚泥は良質なたい肥として販売されています。



保育園留学について（清水町）

清水町は、民泊の仲介サイトAirbnbJapan（エアビーアンドビー・ジャパン）と、「まちまるごとホテル」の実現に向けて包括連携協定を結び、移住体験住宅のリノベーションについては、良品計画がコーディネートしています。

保育園留学については、キッチハイクと包括連携協定を結んでいます。民間企業との連携により発信力がつき、移住体験する子育て家族が増えています。

「行政視察調査を終えての所感」

今回の道内調査は、本町の直面している課題に沿って調査を行いました。地域交通、子ども発達支援事業、広域でのごみ処理のあり方、移住体験住宅を活用した保育園留学など新たな可能性について考えさせられました。

令和6年9月3日から5日 産業建設文教常任委員会行政視察報告

委員長 後藤 忍

～名水を利用した付加価値商品の製造、子ども室内遊具施設、住民センターなどについて視察～



羊蹄山の名水を利用した付加価値商品の製造について

（株）デリシャスフロム北海道）

（株）デリシャスフロム北海道は、倶知安町でノンアルコール飲料「ハッコウジンジャー」を製造販売しています。令和5年から訪日客らに地元素材の魅力を発信する狙いで羊蹄山の湧き水を使ったナチュラルミネラルウォーター工場を稼働し、倶知安町ひらふ地区の高級ホテルやレストランに卸しています。

大空町では、東藻琴地区水源から網走市へと導水している源泉（銀嶺水）を女満別地区に供給することの協議が行われています。



インバウンド観光需要も鑑みて、付加価値を付けたミネラルウォーターの商品開発及び販売について視察しました。

子ども室内遊具施設『はれっば』視察（南幌町）

南幌町は、子育て支援策及び移住促進施策の効果により、昨今の移住者の増加による人口増を受け、総務省の人口動態調査では日本人人口の増加数が道内の市町村で1位となっています。

「はれっば」は、令和5年5月にオープンし、開業1年で実に212,168人の入館者数を記録しています。地域の子供たちの居場所、保護者同士の繋がり、まちの賑わい創出、町の知名度向上を目的に建設しています。町民及び利用者の意見を取り入れ、民間企業との連携により民間事業者の専門的なノウハウ・アイデアを活かした魅力あふれる施設です。



サツドラホールディングス株式会社と自治体における連携等について（当別町・札幌市）

サツドラHD株式会社では、店舗拡大と人口減少で市場飽和が進むドラッグストア業界において、自治体との連携や地域を巻き込んだポイントカード戦略、生鮮品等の品ぞろえの強化といった独自策で小規模商圏にも出店していることを確認しました。

小清水町と江差町では、地域活性化等に関する包括連携協定を結び、当別町では、持続可能な官民連携によるまちづくりを目指し包括連携協定を締結しています。



鷹栖地区住民センター『ふらっと』視察（鷹栖町）

「ふらっと」は、公共施設が集まる鷹栖地区の市街地中心に位置しているため、地区住民のサークル活動等の他、町全体の行事などにも利用されています。歩いて回れるまちの中で、近接する役場庁舎、保育園や小学校、高齢者施設とのネットワークをつくり、交流の拠点を目指して造られました。

館内は、段差をなくしたバリアフリー対応の平屋建てで、子供からお年寄りまで、誰もが「見て」「来て」「楽しめる」施設とするため、ホール、つながる庭（内庭）、図書室が一体的につながる開放的な空間を備え、町民が集い、交流できる場所となっています。建築は在来工法による多様な木造空間で、木の温もりを感じられる造りとなっています。



「行政視察調査を終えての所感」

今回の道内視察は、町づくりににおいて必要であると考えられる先進的な施設及び会社の概要・運営方法を調査させていただきました。このような機会を設けていただいていることに感謝し、今後の委員会審議に活かしていきたいと思ひます。

Voice 声 町民の



未来をつくる子供 たちを育てよう!

くり はら ひで ゆき
栗 原 秀 之 さん

(日本宇宙少年団北海道オホーツク分団 分団長
一般社団法人ネイチャーキャンパス 業務執行理事)

令和4年、電撃再婚を機に東京から北海道へ移住してきました。東京は絶えず変化し、生活リズムが速く、新しいものが国内外から常に流れ込む街でした。そこから豊かな自然と穏やかな空気に包まれたこの素敵な町に移住し、地域の支えを感じながら、これまでの経験を生かして地域貢献に取り組んでまいりました。

活動として、大空高校でのスマートフォン撮影講座や生成AI(ChatGPT)の授業を拝命、商工会フリーペーパーの企画・撮影・製作、ナオイフォトスタジオさんをセルフ撮影スタジオへ業態転換、間伐材を使ったフォトスタンドをふるさと納税の返礼品に提供。また、教育文

化会館での世界的ピアニスト中村天平氏のコンサート誘致や町内でミュージックビデオの撮影。今年の春からは、『日本宇宙少年団 北海道オホーツク分団』を家内と始め、子供たちの想像力を育む活動にも力を注いでいます。さらに現在、年齢や職業を問わず大空町民が集い、世代を超えた交流と協力で地域の未来を創造する『大空未来交差点』をスタートしました。学生、若者へのアドバイスやアイデア実現の支援を行い、地域発展の民間プラットフォームとしてイベントやプロジェクトの企画・実施を奨励しています。この活動を通じて、大空町の発展に少しでも寄与できれば幸いです。

なつかしの校舎



東藻琴 福富小・中学校

福富地区は、大正14年13戸が入植し開拓が始まり、開拓当初の学童は、奥女満別や上藻琴に通学していました。

昭和5年、入植戸数が50戸に達し学校新設の機運が高まりました。

昭和6年6月に北海道庁補助と住民寄付で女満別原野29線112番地に65坪の校舎建築に取り掛かり、同年8月東藻琴尋常小学校所属福富特別教授所として開校しました。

昭和11年尋常小学校に昇格、昭和19年高等科を併置、昭和22年学制改革により、高等科を廃し、中学校が東藻琴中学校の分校として併置されました。

昭和31年木造平屋建ての新校舎が完成。昭和34年には屋内体操場も整備されました。

昭和39年以降生徒数が減少し、中学校は、昭和48年3月東藻琴中学校へ統合。小学校は、昭和53年3月東藻琴小学校へ統合になりました。小学校の卒業児童数は、466名。中学校の卒業生徒数は、222名でした。

(参考文献：東藻琴村誌 東藻琴小学校開校百周年記念誌)

有限会社 秋岡自動車工業



どこの車種でも売ります。軽自動車はスズキ、三菱、ダイハツを主に販売しています。女満別湖畔入口の美幌より来ると右側にあります。キャンプ等に、カギロックした時すぐかけつけます。



営業案内

- 自動車整備
- 板金・塗装
- 新車販売
- 中古車販売
- 保険代理店
- 用品販売



資格等

- 北海道陸運局 認証工場 第7-320号



会社概要

有限会社 秋岡自動車工業

〒099-2301 網走郡女満別町字湖畔4丁目1番9号

TEL 0152-74-3455 FAX 0152-74-3520

メール akok7-320@joy.ocn.ne.jp

●営業時間 AM9:00 ~ PM6:00 ●日曜定休

※民間企業からの有料広告を掲載しています。

編集後記

議会だより73号の編集集中に三條幸夫議員の訃報が届きました。病氣療養中と聞いていましたので絶対に回復されて、また一緒に仕事が出来ると思っていましたのでとても驚きました。私の父もドリーム苑に入所しているのでもう気にかけて下さり、よく父と世間話などしてくださいました。三條さんは役場職員として長年勤められ、その見識や経験を生かして議員として精力的に活動されました。自分も2年余りの間で自分が議員としての心構えやふるまい方を教わりました。大空町をよりよい町にする為にいつも考えていた先輩が亡くなりとても残念でなりません。大空町をよりよくして行くことが三條さんへの手向けとなると考え議員の仕事が続けてまいります。心よりご冥福をお祈りいたします。(森賀)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)
委員長 鈴木秀之
副委員長 上地史隆
委員 森賀祐司
委員 福田淳一
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いいたします。

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」
第74号

発行／大空町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／株式会社須田製版

住所／〒099-2392

ホームページ

北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)77-8106 FAX(0152)74-2191
http://www.town.ozora.hokkaido.jp

